

民話オペラ「二人奥方」(第二場・第9景)
奥方に化けた狐の Aria と「葛の葉伝説」

恋しゅうばたずねきてみよ
信田の森の白狐

末路はあわれ死にたえる
身は畜生の悲しさよ

夢あこがれたおろかさよ
古い昔のお話に

葛の葉ぬれた
悲しい恋に

信田の森の白狐
古い昔のお話に

豊かな実り
穂に穂が咲いた

狐は田んぼの守り神
古い昔のお話に



人と狐のお話には、狐に人が化かされ、ひどい目に合うようなもの、例えば「九尾の狐」のようなお話が多いと聞きます。

しかし、そのような中にも人と狐が仲良く触れ合い、心を通わすようなお話もあります。この「二人奥方」もそのようなお話の一つです。

皆さんは、「葛の葉伝説」をご存知でしょうか。

約千年余りも昔、和泉の国、今の大阪市阿倍野の里に住んでいた安倍保名は、父の代に没落した家の再興を願い、信太森・葛葉稲荷に毎日お参りしていました。ある日のこと、稲荷の境内で、安倍保名は、屈強な数人の狩人に追い込まれた一匹の白狐をかわいそうに思い、助けようと思しますがそのために、傷を負って倒れてしまいます。そこに葛の葉という美しい女性が通りがかり、保名を介抱して家まで送り届けてくれました。葛の葉は、保名の傷の手当てをし、傷が癒えるまで親身に世話をしたそうです。やがて互いの心が通じ合い、二人は夫婦になり一人の子供を授かります。その名は童子丸、後の陰陽師、安倍晴明でした。

童子丸が五歳のとき、ふとしたことから、葛の葉(母親)の正体が保名に助けられた白狐であることが知れてしまいます。もはや人間界で暮らせなくなった葛の葉は、泣く泣く童子丸を置いて信太森へ帰らなくてはなりません。別れ際に、葛の葉は夫と子に、和歌を一首書き残したそうです。

「恋しくば 尋ねきてみよ 和泉なる 信太の森の うらみ葛の葉」

※最後の節の「うらみ…」とは、「悲しみにくれた…」との意があります。
「二人奥方」の狐が、処刑前に歌うAriaの歌詞には、この和歌の言葉が引用され、殿様への狐の想いを感じ取ることができます。

四国民話オペラ「二人奥方」
プロフィール



若井 健司 (香川大学)
芸術監督・演出

東京藝術大学大学院修了。
在学中に「甦る第九」(日本テレビ放送)ソリストとしてデビュー。オーストリアなど各地で宗教曲などのソリストとして活躍し、ブカレストフィルハーモニー管弦楽団などの海外のオーケストラと共演。国内数多くのオペラで主演を務めた。

瀬戸の都・高松からの世界への芸術(オペラ)発信・交流活動を2005年開始。ニューヨークのオーケストラの異文化交流事業、四国二期会オペラ公演、サンポートホール高松の記念事業、新作オペラ「扇の的」(ブルガリア・スタラザゴラ国立歌劇場での招聘公演)などのプロデュース・演出・演奏に取り組んできた。
高松市文化奨励賞、香川県文化芸術選奨受賞。
現在、瀬戸内海での源平合戦絵巻となる新作オペラ制作中。
四国二期会理事長。香川大学教育学部教授(副学部長)。



岡田 知也 (香川大学)
指揮・編曲

和歌山市生まれ
大阪教育大学特設音楽課程作曲専攻卒業。兵庫教育大学大学院芸術系修了。
昭和63年度笹川賞作曲コンクール吹奏楽曲部門第2位
作曲を保科洋、物部一郎、森川隆之の各氏に、指揮を保科洋、

David Howellの各氏に師事。特に吹奏楽や合唱の分野において多数の作品を発表している。さらに校歌、卒業式や音楽の授業のための作品についても積極的に作曲・編曲を行っている。
公立中学校教諭を経て、現在、香川大学教育学部教授。



青山 夕夏 (香川大学)
コンサートマスター

東京藝術大学大学院、シュトゥットガルト音楽大学M.A.コース修了。シュトゥットガルト・フィルで活動。ドイツ、フランス、中国、韓国などでフルート・リサイタル。
高松市文化奨励賞、香川県文化芸術選奨受賞。
アジア・フルート連盟日本常任

理事、日本管楽芸術学会理事。
現在、香川大学附属特別支援学校校長。香川大学教育学部教授。



東浦 亜希子 (香川大学)
音楽アドバイザー

東京藝術大学音楽学部卒業、同大学大学院修士課程および博士後期課程(鍵盤楽器研究領域)修了。博士号(音楽)取得。
学部卒業時に同声会賞受賞。
ザルツブルク夏期国際アカデミーにおいて邦人作品演奏への特別賞を受賞。第15回R.シューマン国際コン

クール(ドイツ)ピアノ部門ファイナリスト・ディプロム受賞。
東京藝術大学音楽学部ピアノ科、東京都立総合芸術高等学校音楽科、各非常勤講師を経て、現在、香川大学教育学部准教授。

